



OSPF の設定

- シスコの OSPF 実装 (1 ページ)
- OSPF のルート配布 (2 ページ)
- OSPF のルータの調整 (2 ページ)
- OSPF の制限事項 (2 ページ)
- OSPF の設定方法 (2 ページ)

シスコの OSPF 実装

シスコの実装は、OSPF バージョン 2 仕様に準拠します。この詳細はインターネット RFC 2328 に記載されています。次に、シスコの OSPF 実装でサポートされている主要機能について説明します。

- スタブエリア
- ルートの再配布
- 認証
- インターフェイスパラメータのルーティング
- 仮想リンク
- Not-so-stubby area (NSSA)
- デマンド回線上の OSPF

主要な各 OSPF 機能の詳細については、https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/ios-xml/ios/iproute_ospf/configuration/xr-3s/iro-xe-3s-book/iro-cfg.html#GUID-A999A739-6B1D-4E5E-9396-F7531469D805 を参照してください。

OSPF のルート配布

ルートの再配布を指定できます。ルートの再配布の設定方法の詳細については、https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/ios-xml/ios/iproute_ospf/configuration/xe-3s/iro-xe-3s-book/iro-cfg.html#GUID-369415D9-E481-41AE-9387-ECEDFE461361 を参照してください。

OSPF のルータの調整

通常、OSPF を使用するには、多くの内部ルータ、複数のエリアに接続されたエリア境界ルータ（ABR）、および自律システム境界（ASBR）間での調整が必要です。詳細については、「https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/ios-xml/ios/iproute_ospf/configuration/xe-3s/iro-xe-3s-book/iro-cfg.html#GUID-CFFB7E62-5D56-4036-8DF7-F5BFC75ADF53」を参照してください。

OSPF の制限事項

- OSPFv3 はサポートされていません。

OSPF の設定方法

OSPF のイネーブル化

設定する前に、OSPF を有効にする必要があります。

グローバル コンフィギュレーション モードで OSPF を有効にするには、次のコマンドを入力します。

```
enable
configure terminal
router ospf process-id
router-id <loopback ip-address>
network ip-address wildcard-mask area area-id
end
```

BDI での OSPF の設定

設定する前に、OSPF を有効にする必要があります。

BDI インターフェイスで OSPF を有効にするには、次のコマンドを入力します。

```
enable
configure terminal
interface BDI <bdi-no>
```

```
ip address <ip-address > <subnet-mask>
ip ospf <process-id> area <area-id>
end
```

詳細については、「[How to Configure OSPF](#)」を参照してください。

OSPF インターフェイスでのループバックの設定

OSPF インターフェイスでループバックを設定するには、次のコマンドを入力します。

```
interface loopback<loopback-no>
ip address <ip-address > <subnet-mask>
ip ospf <process-id> area <area-id>
```

OSPF の設定例

OSPF のさまざまな設定については、次の[例](#)を参照してください。

